

＜先週の説教から＞

『平和聖日・ルカ④一人を裁くな！』

武田真治牧師

詩編 96:10～13 ルカ福音書 6:37～38

本日の礼拝は、教団の暦では「平和聖日」と定められています。この日を定めようと提案した人達は、もともと原爆に被爆された広島牧師たちでした。こんな無差別に人間を殺してしまう兵器を使ってしまう戦争を二度と起こしてはならないという願いが込められています。そのような平和聖日にちょうどイエス様の「人を裁くな。人を罪人だと決めるな」という教えを学ぶ時が与えられたことに不思議な主の御導きを思われます。戦争が起こる理由の多くは、相手の国家や民族に問題がある、自分たちの存在をないがしろにしている「悪人・罪人」と決めつけること＝相手を「裁き」敵視することから始まるのではないのでしょうか？

この「裁く」という言葉は（クリノー）というギリシア語で、この言葉から英語の（クリティカル）という言葉が出来たように、まさに相手を冷たい目で批判的に見て、断罪するという行為を指します。ただここで、イエス様は「人を裁くな。人を罪人だと決めるな」と言われている、その理由もちゃんと話されておられます。それが「そうすれば、あなたがたも裁かれない。そうすれば、あなたがたも罪人だと決められることはない」と。この言葉は、誰から「裁かれない、決められることはない」かは敢えておっしゃっておられません。この点について、実は2通りの理解が出来るのです。一つは何より《神様》です。私たちが他人を批判しない、裁かないことを神様が天から見ておられて報いてくださるからと。それは、直前の35節に「返してもらうことを当てにしないで、貸しなさい。そうすれば、いと高き方からのたくさんの報いがある」と言われている約束の言葉にも通じています。

ただ、もう一つの相手もイエス様は考えておられたとも読めるのです。それは《この世の人々》です。この世で相手に対し「裁かない、罪人だと決めない」ことで、他人も自分に対して「裁かれなくなる、決めつけられなくなる」からと。それはこの後の「与えなさい、そうすれば与えられる。押し

入れ、揺すり入れ、あられる程に量りをよくしてくれる」ととても日常的に言われておられることは、この世の中の人から、そうしてもらえらるだろうと、まさに「あなたがたは自分の量る秤で量り返されるからである」と言われているように。

問題は、どうして他人に対してこのような接し方をするのかという点です。これは、何より先ず、私たちの方から他者に対して、そうことで、相手も同じように接してくれることがあるかもしれないからということでしょう。相手の態度を変えたいのなら、先ず自分からそのように接しなさいと！勿論、報われない、裏切られる時もあるでしょう、そういう時は《神様が報いて下さる》からと。だから、先ずこちらからそう接する時、相手も変わってくれるかもしれないと。そこに「平和を実現するための道」があるのでは？

【今週の集会】

*聖書研究・祈祷会 I. 8月13日（水）休会
II. 8月14日（木）休会

*ハンナの会 休会

【教勢報告】

主日礼拝 男14 女52 計66
祈祷会 I. 男3 女2 計5 II. 男1 女6 計7
日曜学校 幼稚科7 小中科8 計15

【次週主日礼拝】 8月17日（日）

聖書：イザヤ書 32:6～8

ルカによる福音書 6:43～45

説教：「ルカ51—心からあふれ出るもの」

武田真治牧師

讃美歌：7(1)、32、224、60、430、37(1)

【次週当番表】

司式：坂田長老 奏楽：中村 礼拝：齋藤長老

献金：田嶋 武田 受付：飯島 吉岡

会堂準備：木村 小杉 富澤 長田

橋本 北條

看板：曾我 週報：吉岡 お花：休み

【次週集会予定】

礼拝前：・聖書輪読会 ・求道者会

礼拝後：・牧師と語る会 お茶の会 SS教師会

幼稚園理事会 オリーブの葉編集委員会 会堂管理委員会

66-32

週報

2025年度 教会標語

「主につながり、根を張り、枝をひろげて」

2025年 8月 10日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧師 武田真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&FAX 048-771-6549